

# 地球儀

米津玄師

作詞作曲 米津玄師

僕が生まれた日の空は 高く遠く晴れ渡っていた  
行っておいでと背中を撫でる 声を聞いたあの日

季節の中ですれ違い 時に人を傷つけながら  
光に触れて影を伸ばして 更に空は遠く

風を受け走り出す 瓦礫を越えていく  
この道の行く先に 誰かが待っている  
光さす夢を見る いつの日も  
扉を今開け放つ 秘密を暴くように  
飽き足らず思い馳せる 地球儀を回すように

僕が愛したあの人は 誰も知らないところへ行った  
あの日のままの優しい顔で 今もどこか遠く

雨を受け歌い出す 人目も構わず  
この道が続くのは 続けと願ったから  
また出会う夢を見る いつまでも  
一欠片握り込んだ 秘密を忘れぬように  
最後まで思い馳せる 地球儀を回すように

小さな自分の 正しい願いから始まるもの  
ひとつ寂しさを抱え 僕は道を曲がる

風を受け走り出す 瓦礫を越えていく  
この道の行く先に 誰かが待っている  
光さす夢を見る いつの日も  
扉を今開け放つ 秘密を暴くように  
手が触れ合う喜びも 手放した悲しみも  
飽き足らず描いていく 地球儀を回すように